

# 2018年度 学生意識調査結果

## 2018年度学生意識調査結果報告

2018年度に実施した学生意識調査の結果をここに報告する。

今回の調査は2018年度の春学期終了時から夏季休業期間中（8月1日～8月31日）に実施し、在学生数766名中87名から回答を得た。回収率は約11%、在学生のうち留学生は155名、在学生数は2018年5月1日時点のものである。今回はウェブアンケート実施3年目となるが、昨年よりも回答数がかなり減っている（昨年は267名）。その理由の一つは、実施時期が諸般の事情により遅れ、期末試験期間を含む学期終了時から夏季休業中の実施となってしまったことがあげられる。今後は実施時期の遅れが出ないように万全の準備を整えて行いたい。また、回答数を増やすための方策については今後しっかりと検討して、来年度の回収率を上げるようにしたい。

回答における学年の割合は不均等で、1年生が最も多く、次が2年生、3年生という順番になった。4年生の回答が得られなかったことはやはり実施時期が遅かったことが影響したものと考えられる。

言語専修別の割合については、おおよそ実際の割合と一致している。

留学生の回答が1名しかいなかったという点も実施時の遅れが影響したであろうと思われる。

コメントについては、昨年度までの結果と比較しながら、重要な箇所について記載している。

自由記述については個別に検証、回答するため、記載していない。

今後、この結果に基づき、各委員会や課室において、より詳細な分析を行い、大学のPDCAサイクルに生かしていく所存である。

2018年9月28日

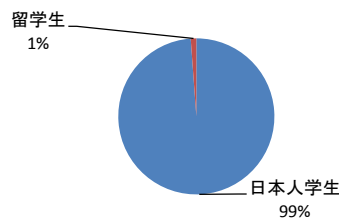
長崎外国語大学  
外国語学部長  
教学IR委員長  
小鳥居伸介

### あなた自身について

あなたは日本人学生ですか？それとも海外からの留学生ですか？

日本人学生	86
留学生	1

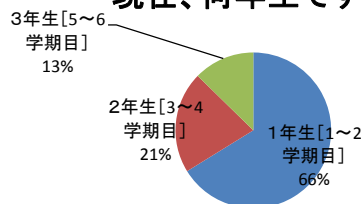
#### 日本人ですか、留学生ですか



あなたは現在、何年生ですか？

1年生[1～2学期目]	47
2年生[3～4学期目]	15
3年生[5～6学期目]	9
4年生[7～8学期目]	0

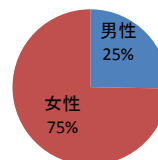
#### 現在、何年生ですか



あなたの性別は何ですか？

男性	22
女性	65

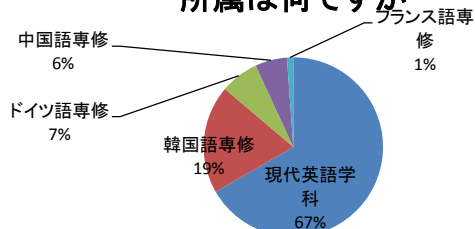
#### 性別は何ですか



あなたの所属は何ですか？

現代英語学科	58
韓国語専修	17
ドイツ語専修	6
中国語専修	5
フランス語専修	1

#### 所属は何ですか



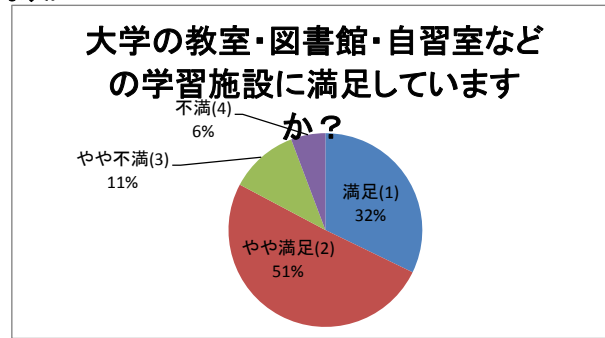
# 2018年度 学生意識調査結果

## 学生生活について

### 大学の教室・図書館・自習室などの学習施設に満足していますか？

満足(1)	28
やや満足(2)	44
やや不満(3)	10
不満(4)	5

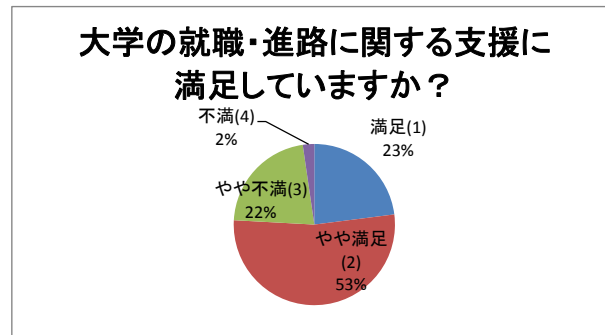
満足とやや満足を合わせて満足している学生が半数を超えている。施設への満足度は高いと判断する。



### 大学の就職・進路に関する支援に満足していますか？

満足(1)	20
やや満足(2)	46
やや不満(3)	19
不満(4)	2

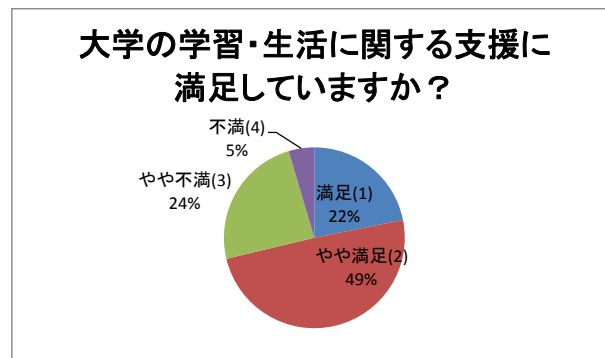
就職や進路に関する支援へは満足を得ていると考えられる。しかしながら「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」という反応もまた高いという興味深い結果も出ている。



### 大学の学習・生活に関する支援に満足していますか？

満足(1)	19
やや満足(2)	43
やや不満(3)	21
不満(4)	4

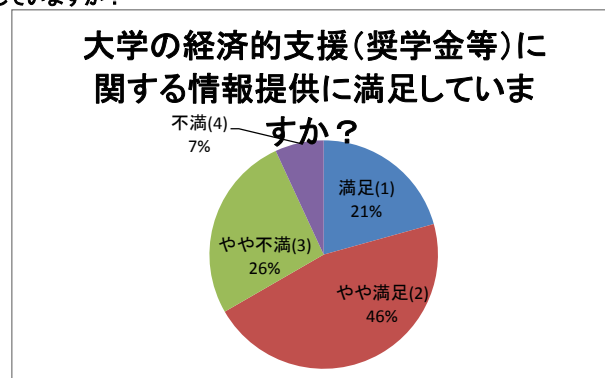
全体としては満足を得ているが、「やや不満」の回答が全体として二位であるため、それを解消するための対策が必要である。



### 大学の経済的支援(奨学金等)に関する情報提供に満足していますか？

満足(1)	18
やや満足(2)	40
やや不満(3)	23
不満(4)	6

全体としては満足を得ているとはいえ、「やや不満」という回答が殊の外多い。情報提供への不満というより、大学が提供できる奨学金オプションが少ない、または金額に限度があるなどの声である可能性があるが、この問題を解決するには、学生が求める奨学金とはどのようなものか調査してみる必要がある。



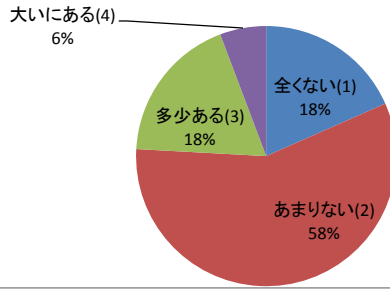
# 2018年度 学生意識調査結果

〈今あなたには次のような不安や悩みがありますか？〉授業の内容についていけない

全くない(1)	16
あまりない(2)	50
多少ある(3)	16
大いにある(4)	5

全体として大学レベルの授業には多少は苦勞をしてもついて行っているようではある。今年度から「大いにある」学生のために学修支援センターを開設するので、どのようにそれが解消するか研究が必要である。

## 授業の内容についていけない

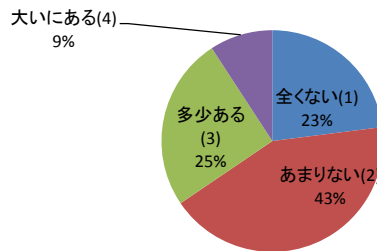


〈今あなたには次のような不安や悩みがありますか？〉やりたいことがみつからない

全くない(1)	20
あまりない(2)	37
多少ある(3)	22
大いにある(4)	8

設問を「今」やりたいことが「生涯をかけて」やりたいことかどのように解釈しての回答かは不明確ではあるが、「今」として分析すると、学生無気力は本学の学生の約3割に残っていることが分かる。求める前に与えられる刺激と情報の洪水の中の学生に、やりたいことを指し示すことが出来る教育を目指していきたい。

## やりたいことが見つからない

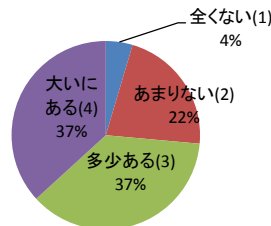


〈今あなたには次のような不安や悩みがありますか？〉希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ

全くない(1)	4
あまりない(2)	19
多少ある(3)	32
大いにある(4)	32

進路・就職に関する支援に満足を得ても、現実として将来に全く不安がない人は少ないと思われるので、これが正直な感想なのかもしれないが、昨年度の調査とは「ある」と「ない」の回答数が逆転している。有効求人倍率や内定率などの数値が好転していることを踏まえ、これは卒業時まで現在の好景気が続くか不安な下級生の回答であると分析する。

## 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ

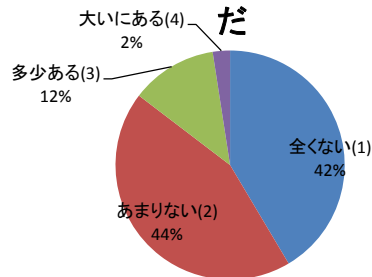


〈今あなたには次のような不安や悩みがありますか？〉経済的に大学生活を続けることが困難だ

全くない(1)	34
あまりない(2)	36
多少ある(3)	10
大いにある(4)	2

この設問は「保護者にとって」困難であると学生が聞いているのか、「学生にとって」学費以外の費用の捻出が困難であるのかわかりにくいですが、おそらく前者であると思われる。回答結果は概ね前年度同様である。「ある」と答えた学生がアルバイトを重ねて結果として学業に差し障ることが懸念される。

## 経済的に大学生活を続けることが困難だ

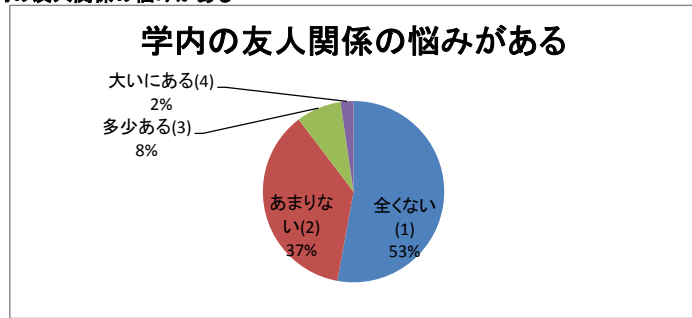


# 2018年度 学生意識調査結果

〈今あなたには次のような不安や悩みがありますか？〉学内の友人関係の悩みがある

全くない(1)	46
あまりない(2)	32
多少ある(3)	7
大いにある(4)	2

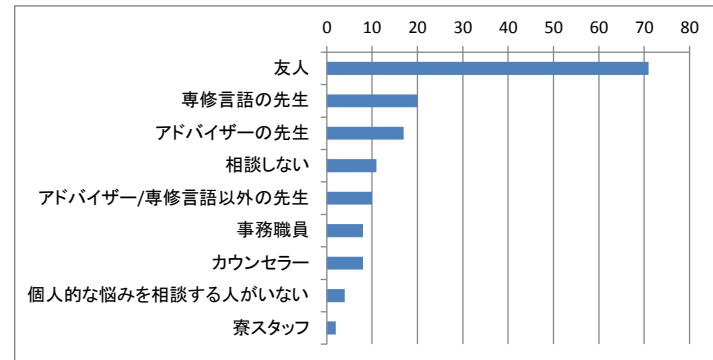
友人関係の悩みは「ない」という趣旨の回答が多い。学年が進むと「ある」場合の内容が異なる傾向があるが、本学はいずれの場合にもスクールカウンセラーのところに行くように指示している。



悩みがあったら大学内の誰に相談しますか？(複数回答可、あてはまるものすべてにチェック)

友人	71
専修言語の先生	20
アドバイザーの先生	17
相談しない	11
アドバイザー/専修言語以外の先生	10
事務職員	8
カウンセラー	8
個人的な悩みを相談する人がいない	4
寮スタッフ	2

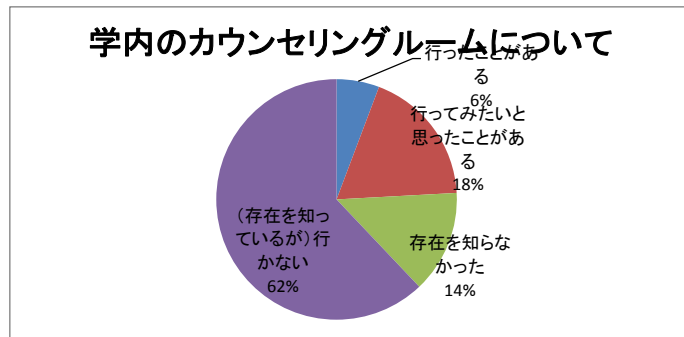
悩みの種が友人でなければ、友人に相談するのも理解はできるが、問題の悪化と複雑化の原因ともなるので、本学はアドバイザーやカウンセラー、宗教主任に相談するように指導してい



学内のカウンセリングルームについて

行ったことがある	5
行ってみたいと思ったことがある	16
存在を知らなかった	12
(存在を知っているが)行かない	54

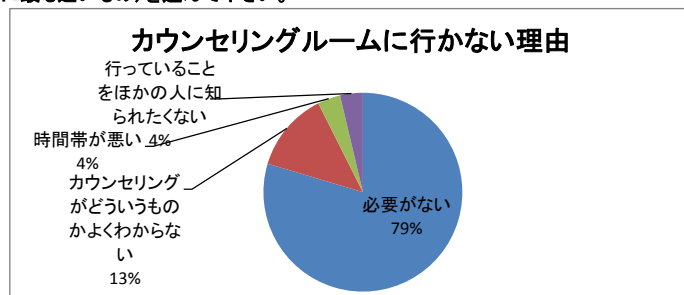
カウンセリングルームはどの年度の統計でも利用が少ないが、本当に必要となった時に利用できることが重要なので、集計結果がどのようであれ、特に問題と考えていない。



学内のカウンセリングルームに行かない理由(自分の考えに最も近いもの)を選んで下さい。

必要がない	43
カウンセリングがどういうものかよくわからない	7
時間帯が悪い	2
行っていることをほかの人に知られたくない	2
場所が悪い	0

「必要がない」が最も健全な回答である。



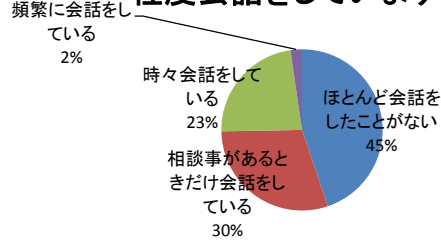
# 2018年度 学生意識調査結果

授業以外でアドバイザーの先生とどの程度会話をしていますか。

ほとんど会話をしたことがない	39
相談事があるときだけ会話をしている	26
時々会話をしている	20
頻繁に会話をしている	2

初修外国語と違い、英語専修にとっては授業担当者がアドバイザーである確率が低いので、今年度からアドバイザーが日本語リテラシーの担当となるように配慮し、かつ学期中に面談の機会を持った。どの程度話せば「ほとんど会話をしたことがない」ではなくなるのであろうか。

## 授業以外でアドバイザーの先生とどの程度会話をしていますか

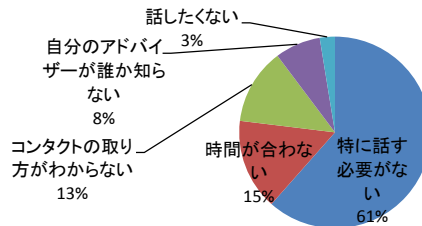


なぜ今までアドバイザーの先生とほとんど会話をしたことがないのですか(自分の考えと最も近い理由を選択)。

特に話す必要がない	24
時間が合わない	6
コンタクトの取り方がわからない	5
自分のアドバイザーが誰か知らない	3
話したくない	1

思春期後期のよくある姿として、保護対象者からの心理的疎遠があるが、特に話す必要がないと回答した学生は前年度の調査よりは減っている。

## なぜ今までアドバイザーの先生とほとんど会話をしたことがないのですか

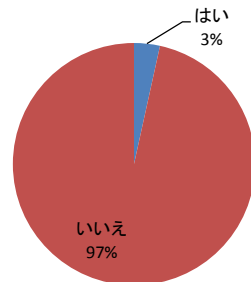


あなたはたばこを吸いますか？

はい	3
いいえ	84

本学学生には喫煙が適法ではない学生が含まれるが、全体として非喫煙者が多い。喫煙する時間を確保するためこのアンケートに回答していない可能性はあり得るが。

## あなたはたばこを吸いますか

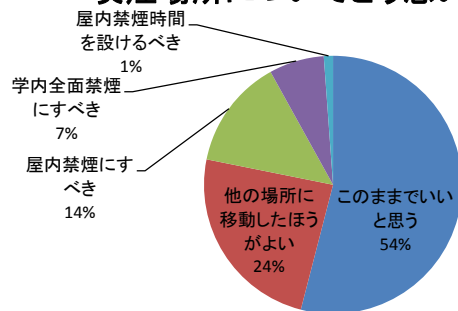


本学の喫煙場所についてどう思いますか？

このままでいいと思う	47
他の場所に移動したほうがよい	21
屋内禁煙にすべき	12
学内全面禁煙にすべき	6
屋内禁煙時間を設けるべき	1

非喫煙者には喫煙者への理解がないことがあるが、本学学生はおおむね喫煙者に理解があるようである。

## 喫煙場所についてどう思いますか



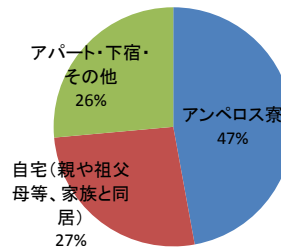
# 2018年度 学生意識調査結果

現在住んでいるところはどこですか？

アンペロス寮	41
自宅(親や祖父母等、家族と同居)	23
アパート・下宿・その他	23

国際寮を持つ海外の大学は入学初年度は必ず入寮するように定まっているところがあるが、本学はその定めがないこと、入寮を希望する学生が必ずしも寮に入れるとは限らないことがあって、アコモデーションは様々な形態がある。自宅生の割合が前年度よりも減っているため、学生側の支出増の原因はこと通学費用にも求められると思われる。

現在住んでいるところはどこですか？

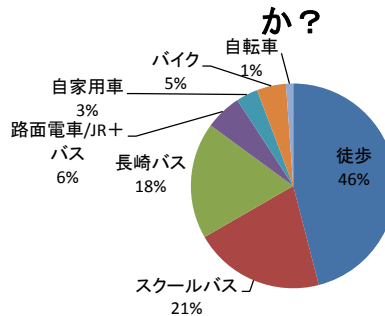


主な通学手段は次のうちどれですか？

徒歩	40
スクールバス	18
長崎バス	16
路面電車/JR+バス	5
自家用車	3
バイク	4
自転車	1

アンペロス寮の学生は徒歩通学と回答しているかバス通学と回答しているか分からないが、徒歩が一番多く、バスも次の頻度で利用されているようである。自家用車やバイク通学の学生をバス通学に換えることが出来れば、学生側の支出も減ると考えられる。

主な通学手段は次のうちどれですか？

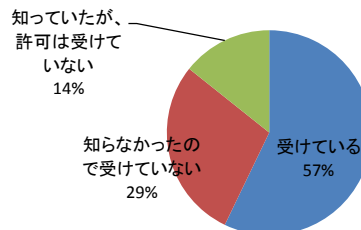


自家用車やバイクで通学をする場合、学校から許可を受けなければいけません。あなたは、許可を受けていますか？

知っている	4
知らなかったので受けていない	2
知っていたが、許可は受けていない	1

無許可の車両通学は、少ないが常に存在する。守衛と教職員に取り締まる権限がないので仕方がないが、周知を徹底する指導を強める以外に方策がない。

自家用車やバイクで通学をする学生は、学校から許可を受けていますか？

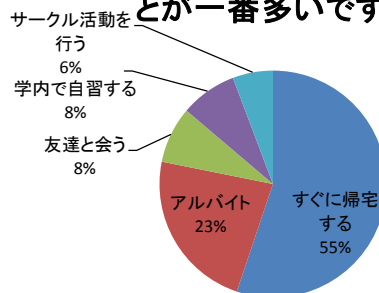


一日の授業が終わった後、何をすることが一番多いですか？

すぐに帰宅する	48
アルバイト	20
友達と会う	7
学内で自習する	7
サークル活動を行う	5

授業が何時限目まで終わろうとも、過半数の学生は帰宅すると回答している。家庭で自学出来れば良いのであるが、それが不可能な場合は図書館等に残って、本日分の学修を終えてから帰宅してほしいものである。あと、正課外活動に従事する学生が少ないことが見て取れることが興味深い。

一日の授業が終わった後、何をすることが一番多いですか？

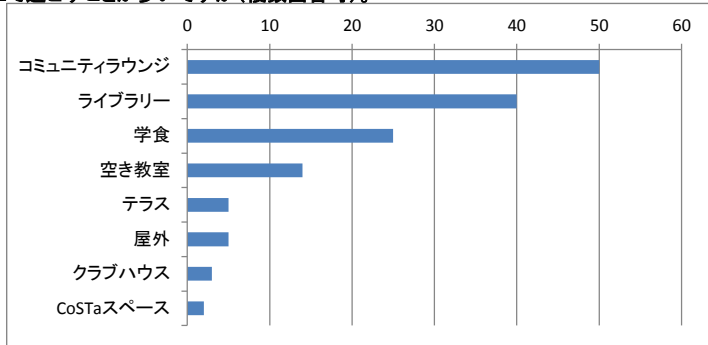


# 2018年度 学生意識調査結果

一日の授業が終わった後や授業のない時間は、学内のどこで過ごすことが多いですか(複数回答可)。

コミュニティラウンジ	50
ライブラリー	40
学食	25
空き教室	14
テラス	5
屋外	5
クラブハウス	3
CoSTaスペース	2

学内での居場所としてコミュニティラウンジとライブラリーが多いようである。学食に行く学生をラーニングコモンズに誘導できないものかと思う。

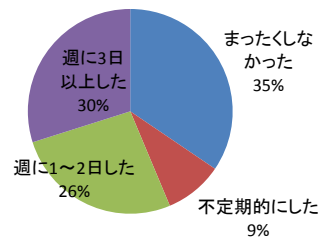


大学入学後の〈授業期間中〉どれくらいアルバイトをしていますか？

まったくしなかった	30
不定期的にした	8
週に1~2日した	23
週に3日以上した	26

アルバイトに従事する学生は頻度を合わせれば65%に及んでいる。必要でなければ避けるようには指導しているが、授業時間外の活動としてはアルバイトが一番多く、正課外活動が少ないのもそれが原因であると考えられるべきであろう。

## 大学入学後の〈授業期間中〉どれくらいアルバイトをしていますか

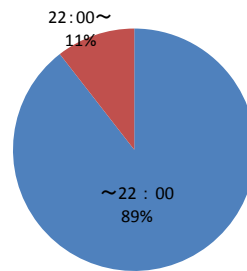


アルバイトの主な時間帯は？(19:00~24:00のように終業時間が22:00を過ぎる場合は【22:00~】を選択)

~22:00	51
22:00~	6

深夜帯のアルバイトが学生にとって良い影響があったことはほとんどなく、絶対に避けるべきであると指導している。しかしながらその深夜帯に仕事を得ている学生が少なからずいるため、学修の乱れ等がないか懸念している。

## アルバイトの主な時間帯は？

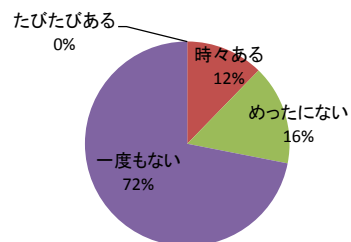


〈アルバイトをした/している人のみ答えてください〉アルバイトが原因で授業を休んだことがありますか？

たびたびある	0
時々ある	7
めったにない	9
一度もない	41

アルバイトが原因で大学を休むのは本末転倒の最たる例であるが、本学ではおおむね健全なアルバイトがなされているようである。

## アルバイトが原因で授業を休んだことがありますか

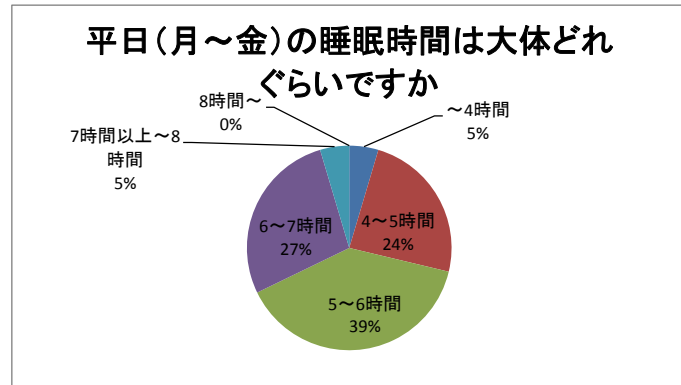


# 2018年度 学生意識調査結果

平日(月～金)の睡眠時間は大体どれぐらいですか？

～4時間	4
4～5時間	21
5～6時間	34
6～7時間	24
7時間以上～8時間	4
8時間～	0

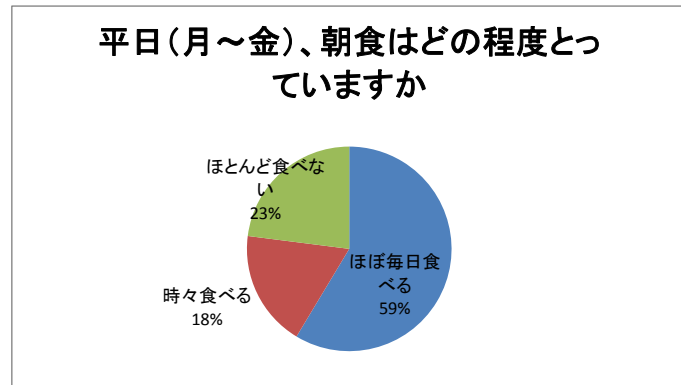
午前7時に起床するとして、本学学生の睡眠覚醒サイクルでは、明日寝て明日起きるスタイルが一般的であると思われる。時間外学修を効率化し、できるだけゆっくと寝てほしいと希望している。



平日(月～金)、朝食はどの程度とっていますか？

ほぼ毎日食べる	51
時々食べる	16
ほとんど食べない	20

寮と自宅で生活している7学生は朝食をよく摂っており、一人暮らしの場合にそれを抜く傾向があるとは言われているが、アコモデーションの調査結果とほとんど同じ結果となっているため興味深い。



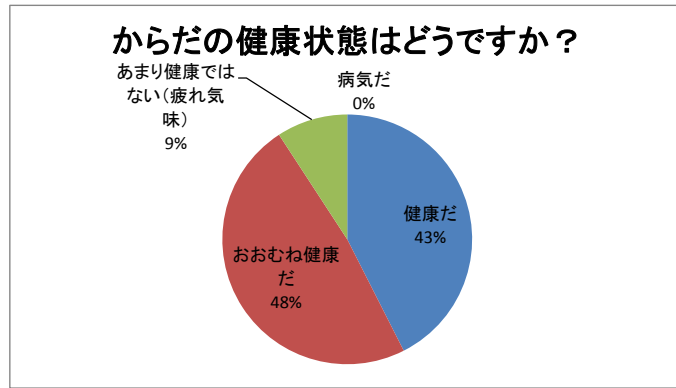


# 2018年度 学生意識調査結果

## からだの健康状態はどうですか？

健康だ	37
おおむね健康だ	42
あまり健康ではない(疲れ気味)	8
病気だ	0

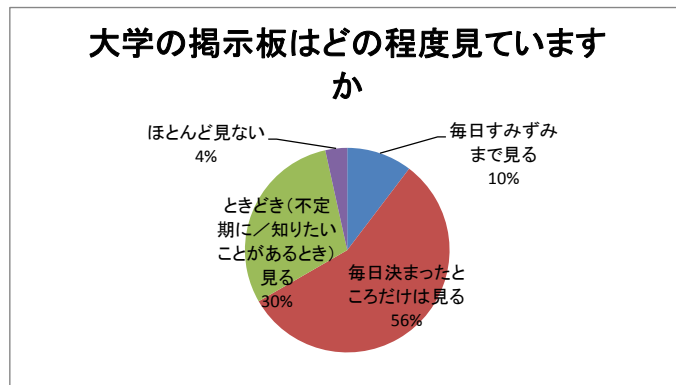
健康であることが大学生活において一番求められていることである。身体的に病気と認識している学生が無理をして通学しているようには見受けられず、安心している。



## 大学の掲示板はどの程度見えていますか？

毎日すみずみまで見る	9
毎日決まったところだけを見る	49
ときどき(不定期に/知りたいことがあるとき)見る	26
ほとんど見ない	3

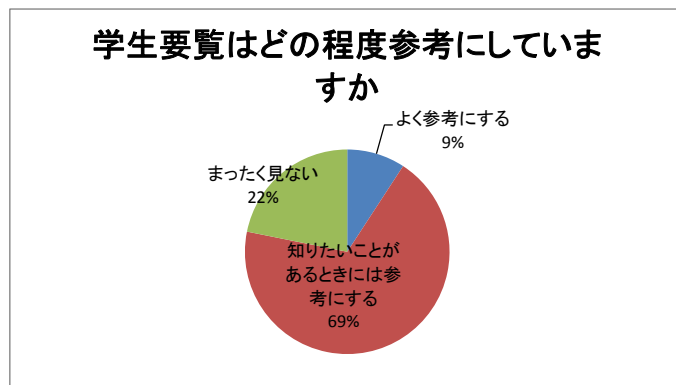
本学学生が最も見るのは休講掲示であり、次に担当者からの連絡とアルバイトの求人案内が続くことが分かっている。実際は掲示板の見落としによる学修上の不利益は、ほとんど見ない学生の数よりも多い頻度で見受けられ、調査結果が良くとも、ほとんど見ない学生一人のために指導しなければならぬことがある。



## 学生要覧はどの程度参考にしていますか？

よく参考にする	8
知りたいことがあるときには参考にする	60
まったく見ない	19

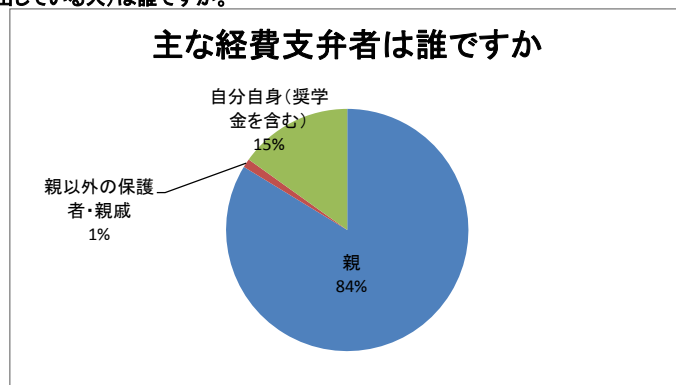
学生要覧は必要があるときは参考にされているようであるが、通常の場合は上級生に聞いたり学生要覧に目を通した学生に聞いたりして対応していることが分かっている。そして、上級生の要覧との差異や他の学生の不理解が、結果として間違った情報の伝達と流布につながっている。情報確認は自分の責任で行うように指導を今後も強める。



## 主な経費支弁者(学費や生活費など修学に必要な資金を出している人)は誰ですか。

親	72
親以外の保護者・親戚	1
自分自身(奨学金を含む)	13

学資の支弁者は通常は保護者であるが、学生が奨学金を受給していても経費支弁者はやはり保護者であり、また学生は保護者が学資ローンなどを利用しているかを知らないこともありうる。親が経費支弁者であっても、経費支弁が安定していることには必ずしもつながらない。聞き方を変えると別の回答が得られると思う。



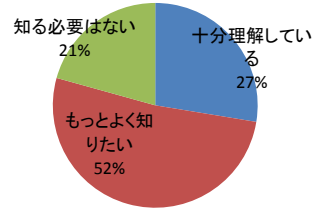
# 2018年度 学生意識調査結果

本学独自の奨学金(給付型)について、種類や申し込み方法などを理解していますか？

十分理解している	24
もっとよく知りたい	45
知る必要はない	18

回答から分かることは、奨学金に関するオリエンテーションは現状では不足している可能性があることである。仕組みが複雑で説明しきれない場合は、日を分けてでも十分に指導するべきであろう。

## 本学独自の奨学金について、種類や申し込み方法などを理解していますか

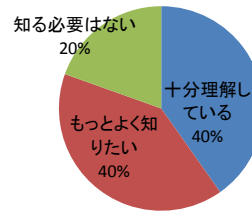


日本学生支援機構(JASSO)など、外部団体の奨学金(貸与型)について種類や申し込み方法などを理解していますか？

十分理解している	35
もっとよく知りたい	35
知る必要はない	17

JASSOの奨学金は本学独自のものに比べて複雑であるので、殊更に丁寧に説明に当たるべきであろう。ただ、不明な点は説明会で質問をして潰してほしいとも考えている。

## 外部団体の奨学金について種類や申し込み方法などを理解していますか

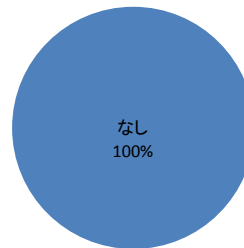


奨学金について意見や要望があったら、具体的に記述してください。

なし	87
----	----

もっと知りたいと希望しているが、具体的に聞くと「なし」で全回答となっている。学生支援課の良い仕事のため、もっと建設的な意見が欲しい。

## 奨学金について意見や要望

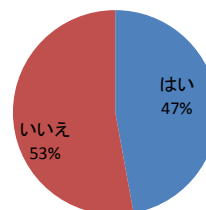


学生の皆さんは全員、学友会の構成員です。外語祭、スポーツ大会、課外活動など積極的に参加していますか？

はい	41
いいえ	46

本学学生は正課外活動に熱心ではないことが既に回答として出ている。ただし本学学友会は学生にとって唯一の意思決定機関なので、もっと大切にしてほしいと願っている。

## 外語祭、スポーツ大会、課外活動など積極的に参加していますか



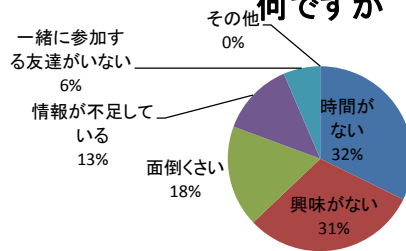
# 2018年度 学生意識調査結果

学友会活動に参加していない理由は何ですか。(複数回答可)

時間がない	20
興味がない	19
面倒くさい	11
情報が不足している	8
一緒に参加する友達がいない	4
その他	0

「興味がない」学生と「面倒くさい」学生を票にすると30票であるが、学友会活動に「興味がない」のも「面倒くさい」のも学友会の問題ではなく、実は自分たち自身の問題であることは理解してほしいと考えている。

## 学友会活動に参加していない理由は何ですか



学友会活動に関する意見があれば具体的に記入してください。

- ・マイクでよく放送なさってるようですが、全く聞こえません。
- ・高校の文化祭と変わらない。もっと大学生らしい文化祭を期待してます。

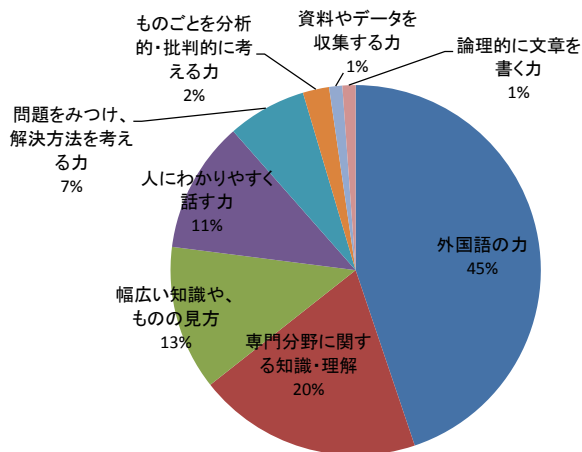
## 学習について

学習面において、最もつけたいと思う力は次のどれですか。1つ選んで下さい。

外国語の力	39
専門分野に関する知識・理解	17
幅広い知識や、ものの見方	11
人にわかりやすく話す力	10
問題を見つけ、解決方法を考える力	6
ものごとを分析的・批判的に考える力	2
資料やデータを収集する力	1
論理的に文章を書く力	1

本学学生として当然と言えばそうなのだが、外国語の力を最もつけたいと思っている学生が半数近くになり、このことに変化は見られない。昨年、今年ほぼ割合に変化がなく、二年前はこれが半数を超えていたので、外国語の力をつけることは前提として、さらに他の項目の力を身につけることを考える学生が増えてきたということなのかもしれない。

## 最もつけたいと思う力は次のどれですか

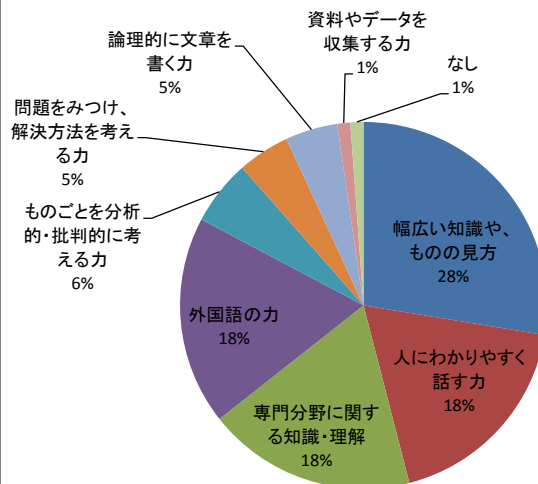


学習面において、もう1つつけたいと思う力は次のどれですか。1つ選んで下さい。

幅広い知識や、ものの見方	24
人にわかりやすく話す力	16
専門分野に関する知識・理解	16
外国語の力	16
ものごとを分析的・批判的に考える力	5
問題を見つけ、解決方法を考える力	4
論理的に文章を書く力	4
資料やデータを収集する力	1
なし	1

ここでの上位4項目は昨年度と同じであった。昨年度は「外国語の力」、「専門分野に関する知識・理解」、「人にわかりやすく話す力」、「幅広い知識やものの見方」の順番であった。今年度は昨年度と全く逆の順番で並んでいるのがとても興味深い。順番は異なってもあげられている項目には変化がなく、これは二年前も同じであり、前問も考え合わせると、いわゆる「伝える力」の獲得を求めているということなのだろう。

## もう1つつけたいと思う力はどれですか



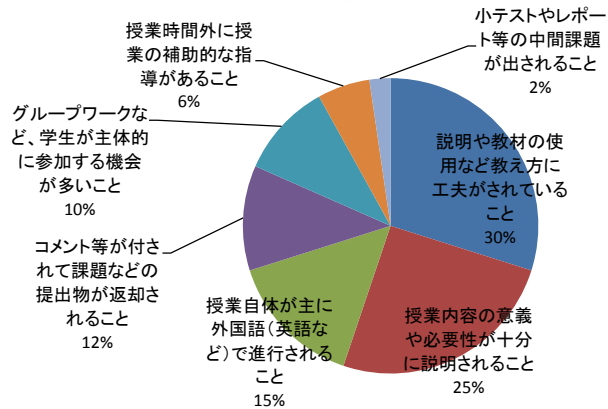
# 2018年度 学生意識調査結果

授業において、授業の理解が深まると思うのは次のどれですか。1つ選んで下さい。

説明や教材の使用など教え方に工夫がされていること	26
授業内容の意義や必要性が十分に説明されること	22
授業自体が主に外国語(英語など)で進行されること	13
コメント等が付されて課題などの提出物が返却されること	10
グループワークなど、学生が主体的に参加する機会が多いこと	9
授業時間外に授業の補助的な指導があること	5
小テストやレポート等の中間課題が出されること	2

「授業内容の意義や必要性が十分に説明されること」、「説明や教材の使用など教え方に工夫がされていること」の2項目で半数を超える回答を占めているのは昨年度と同様(順番は逆)であるが、今年度は3番目の回答として「授業自体が主に外国語で進行されること」が多かった(昨年度は4番目)。学生からしてみれば、やはり無駄を省き、最短距離で結果が出る効率的な授業を望むということだろう。

## 授業の理解が深まると思うのは次のどれですか

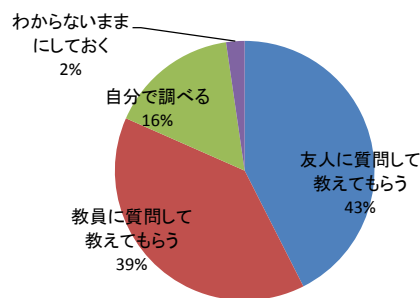


授業の内容で分からないところが出てきた場合、どのように解決していますか。1つ選んでください。

友人に質問して教えてもらう	37
教員に質問して教えてもらう	34
自分で調べる	14
わからないままにしておく	2

昨年度とほぼ同じというよい回答であった。割合も「友人に質問して教えてもらう」は全くで、「自分で調べる」が3%減った分「教員に質問して教えてもらう」が増えたという結果であった。まずは自分で調べ、わからなかったら誰かに尋ねる道筋ができればよい。つまり、「自分で調べる」の割合が多くなることが望ましい。ただ、昨年度と同じく「そのままにしておく」は2%あるので、聞く相手がないのか、聞くこともしないのか、わからないが、いずれにしても、まずこの回答がなくなるようにしなければならない。

## 授業の内容で分からないところが出てきた場合



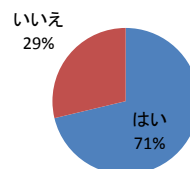
## 国際交流について

日本人学生は留学生と、留学生は日本人学生と交流をしていますか？

はい	62
いいえ	25

割合的には70%を超える学生が交流をしていると回答しているが、国際交流をうたっている本学としては、より多くの日本人学生が留学生と交流してもらうべきであると思われる。

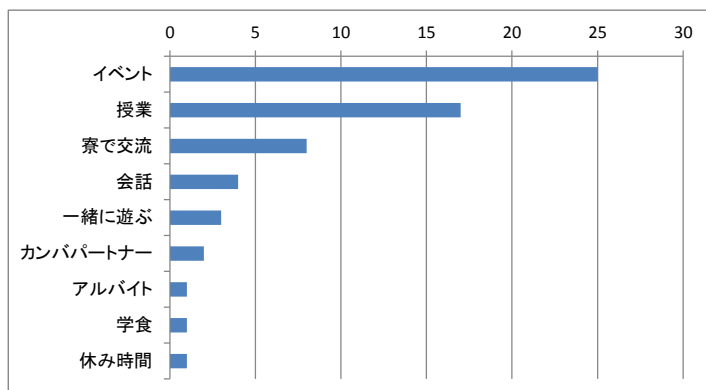
## 日本人学生は留学生と、留学生は日本人学生と交流をしていますか



どのような形で交流をしていますか？

イベント	25
授業	17
寮で交流	8
会話	4
一緒に遊ぶ	3
キャンバパートナー	2
アルバイト	1
学食	1
休み時間	1

国際交流でエッセンスを捉え、プログラムや科目によるイベントやそれぞれの言語で実施されている行事への参加が多いものと思われる。数字的には「寮での交流」がより盛んになることが今後重要である。



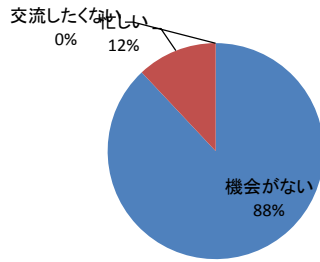
# 2018年度 学生意識調査結果

交流をしていない理由は何ですか？

機会がない	22
忙しい	3
交流したくない	0

これは言語ごとのイベントに関して一部であまり活発に実施されていないことを表していると思われる。今後の問題点として、学生の交流の機会をどのように創出していくかが大きな課題であると言える。

交流をしていない理由は何ですか



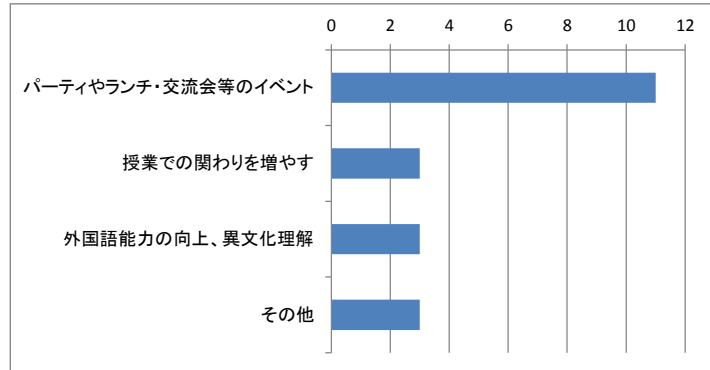
今後日本人学生と留学生の交流の場として、どのようなものを期待しますか？

パーティやランチ・交流会等のイベント	11
授業での関わりを増やす	3
外国語能力の向上、異文化理解	3
その他	3

⇒その他の内訳

- 楽しいもの
- 友達になれること
- 留学生の参加がないのでまずは情報の周知

様々なイベントを創出していくことが急務であると思われる。あわせて、授業の中で日本人学生と留学生と一緒に学べる授業をもっと増やすことも重要である。



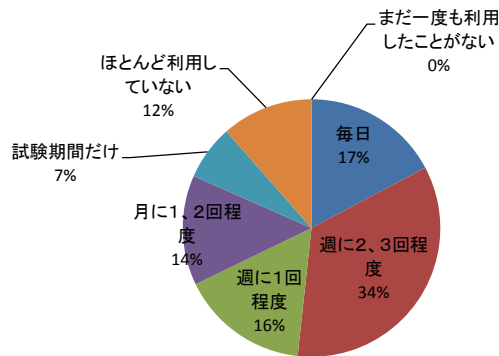
## ライブラリー(図書館)利用について

あなたは、どれ位の頻度でライブラリー(図書館)を利用していますか。

毎日	15
週に2、3回程度	30
週に1回程度	14
月に1、2回程度	12
試験期間だけ	6
ほとんど利用していない	10
まだ一度も利用したことがない	0

一度も利用したことがない学生がゼロになったのは嬉しいことである。今後、Library Lovers'キャンペーン等を通して利用者増を図ることを企画している。

どれ位の頻度で図書館を利用していますか



「ほとんど利用していない」「まだ一度も利用したことがない」と回答した人は、ライブラリーを利用しない理由を教えてください。選択肢にない場合は、「その他」に具体的に記入してください。

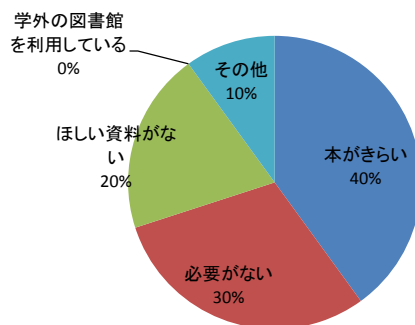
本がきらい	4
必要がない	3
ほしい資料がない	2
学外の図書館を利用している	0
その他	1

⇒その他の内容

- 授業の課題に追われて、いきたくても時間がない。
- 本を読んで学ぶのが好きなのに、宿題や試験が多くて本を読む時間がない

ライブラリーを利用しない理由に「必要がない」と回答した学生の比率が昨年度よりも減じてはいるが、次回の調査では、これらの学生に対して、調べものの情報収集やレポート作成時の資料はどこで(何で)得ているのかについて追加調査を行い、改善方法を探りたいと考えている。

ライブラリーを利用しない理由



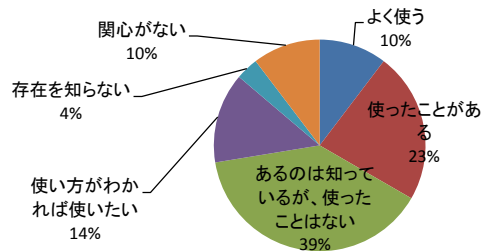
# 2018年度 学生意識調査結果

大学内で、図書や論文を探すデータベース、新聞記事データベース等を活用していますか。

よく使う	9
使ったことがある	20
あるのは知っているが、使ったことはない	34
使い方がわかれば使いたい	12
存在を知らない	3
関心がない	9

「あるのは知っているが、使ったことはない」学生や「使い方がわかれば使いたい」学生のために、授業外でも使い方をレクチャーする必要があると考え、外大Hourでの講座の開講を予定している。

## 図書や論文を探すデータベース、新聞記事データベース等を活用していますか



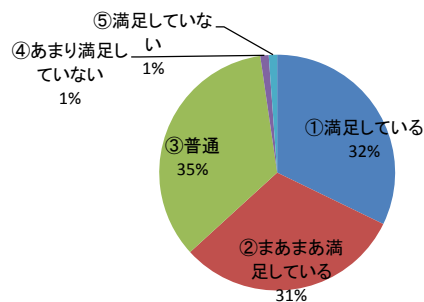
## キャリア支援について

キャリアセンターからの情報提供や来室時の相談対応、実施している課外講座等に満足していますか？

①満足している	28
②まあまあ満足している	27
③普通	30
④あまり満足していない	1
⑤満足していない	1

前年度に比べて、「満足している」との回答が12ポイント上昇した。また、「まあまあ満足している」を合わせると63%で、前年度比17ポイントの上昇となる。他方で、「満足していない」あるいは「あまり満足していない」も2%で、前年比4ポイント減少となった。今年度のキャリア支援は十分に機能していたと考えられる。

## キャリアセンターからの情報提供や来室時の相談対応等について

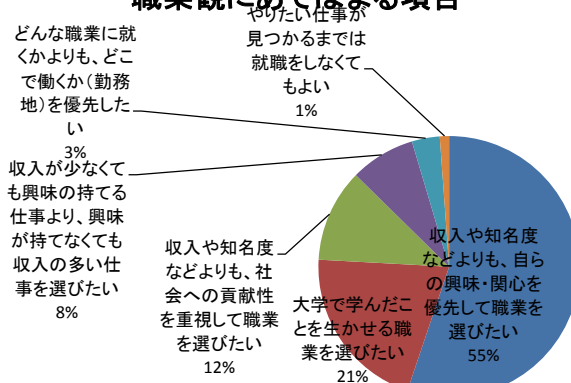


あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んでクリックしてください。

収入や知名度などよりも、自らの興味・関心を優先して職業を選びたい	48
大学で学んだことを生かせる職業を選びたい	18
収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重視して職業を選びたい	10
収入が少なくても興味のある仕事より、興味を持ってなくても収入の多い仕事を選びたい	7
どんな職業に就くかよりも、どこで働くか(勤務地)を優先したい	3
やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくてもよい	1

前年度に比べて、「満足している」との回答が12ポイント上昇した。また、「まあまあ満足している」を合わせると63%で、前年度比17ポイントの上昇となる。他方で、「満足していない」あるいは「あまり満足していない」も2%で、前年比4ポイント減少となった。今年度のキャリア支援は十分に機能していたと考えられる。

## 職業観にあてはまる項目

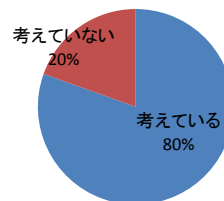


卒業後の進路について考えていますか？

考えている	70
考えていない	17

卒業後の進路について、「考えている」と回答した割合は、昨年度の75%から80%へと5ポイント上昇した。近年の売手市場の状況のなか、早期の就職への意識への高さは、学生が望む企業等への就職を有利にすることができる。20%の卒業後の進路を「考えていない」と回答した学生に対して、すでに初年度向けのキャリア教育があるので、受講生の増加と対応を検討する。

## 卒業後の進路について考えていますか



# 2018年度 学生意識調査結果

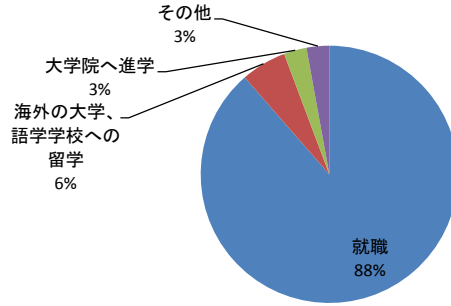
希望する進路を次の中から一つ選んでください。

就職	62
海外の大学、語学学校への留学	4
大学院へ進学	2
その他	2

⇒その他内訳  
資格をとるため、他大学へ  
ダンサー

就職希望者は、前年度同様に80%台となった。その他、海外への留学や大学院への進学希望も一定する存在している。これら、進学等の希望者への支援も充実させていくことも検討する必要がある。

## 希望する進路を一つ選んでください

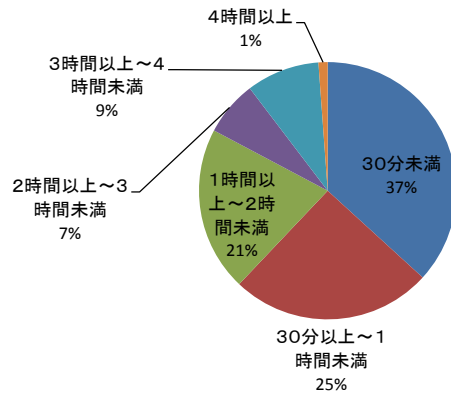


受講している授業(予習・復習を含む)以外で、資格取得など将来に備えた自主的な学習(例:漢字能力検定)の時間は週にどれくらいですか。

30分未満	32
30分以上～1時間未満	22
1時間以上～2時間未満	18
2時間以上～3時間未満	6
3時間以上～4時間未満	8
4時間以上	1

学生の授業以外での、資格取得等将来に備える自主的な学習時間については、昨年と同じ傾向が見られる。1週間当たりの自主的な学習時間が1時間未満の者の構成比は、前年度65%⇒62%となり、2時間以上の者の構成比は、前年度18%⇒17%となっている。旅程管理主任者資格、秘書検定、漢字検定、パソコン関連の資格等、選考の優位性を持つものを中心に学生にしっかりと取得の重要性を伝え、自主的な学修時間増につなげたい。本学独自の朝の自学自習形式の勉強会、朝活もアピール強化したい。

## 将来に備えた自主的な学習の時間



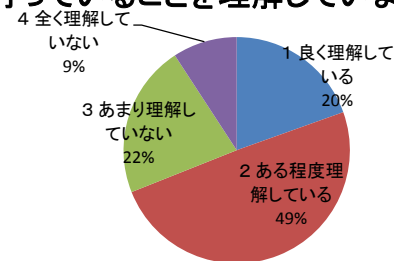
## 本学のキリスト教主義教育について

本学が、キリスト教精神(「隣人愛」「献身と奉仕の精神」「真理と自由の探求」)に基づいて教育をおこなっていることを理解していますか。

1 良く理解している	17
2 ある程度理解している	43
3 あまり理解していない	19
4 全く理解していない	8

教育の基盤がキリスト教精神であることを「良く理解している」「ある程度理解している」が、いずれも昨年度に比べて若干上昇した。今年度から正規留学生・編入生にもキリスト教が必修化されたことが反映したと思われる。

## キリスト教精神に基づいて教育を行っていることを理解していますか



本学のチャペルアワーに関して、あなたが最も良いと思われる項目を選んでください。

賛美歌／賛美礼拝	30
主の祈り	23
奨励(講師のお話)	16
お祈り	11
聖書	7

ゴスペルサークルによる賛美等を導入した「賛美歌／賛美礼拝」は昨年度に比べ5ポイント上昇し、昨年に引き続き最も多かった。また口語体の祈禱文に替えた「主の祈り」も8ポイント上昇した。いずれも今年度のチャペルアワー改革の結果の反映だと思われる。

## チャペルアワーに関して、最も良いと思われる項目

